

(様式 1)

平成 3 0 年度 学校経営計画書

石 川 県 立 小 松 北 高 等 学 校

学 校 長 佃 和 明

1 教育目標

- ① 能力、個性を伸ばし、意欲的に学ぶ人間の育成
- ② 広い視野と社会性に満ちた人間の育成
- ③ 自らの生き方を見つめ、自立できる人間の育成

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 働きながら学ぶ学校の役割とともに、不登校経験者や他校からの転編入生等、多様な生徒への対応が求められている。
- ② 様々な課題を抱えている生徒も少なくないが、教員の指導を素直に受け入れる生徒が大半である。意欲的に学校生活を送っている生徒は、働きながら学び、部活動にも積極的に取り組み、学校行事等で指導的役割を果たしながら成長している。
- ③ 自分に自信が持てず、自己表現することが苦手なため、生徒同士や教職員とのコミュニケーションに悩む生徒も見られる。
- ④ 午前部、午後部、夜間部の 3 部制と、単位制、2 学期制、3 修制、定定併修や定通併修等の柔軟なシステムを活用し、個に応じた指導を通して社会で自立できることを目指している。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 学習意欲の向上と基礎的学力や基本的知識の定着を図り、一人一人の力を最大限伸ばす。
- ② 基本的生活習慣を身に付け、人との関係をうまく保てるよう、コミュニケーション能力や表現力の向上を図る。
- ③ 自己理解を深め、望ましい勤労観、職業観を育成する。
- ④ 不登校経験者や多様な悩みを持つ生徒にきめ細かな指導・対応を行い、「人間力」を育成する。
- ⑤ 地域と連携を図り、ボランティア等で郷土に貢献する生徒を育成する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 教育目標の具現化に向け、組織的・計画的な学校運営を行う。
- ② 基礎基本の定着を目指した授業の実践に取り組む。
- ③ 生徒の実態を把握し、すべての教職員の共通理解のもと、学校教育全体を通して安全・安心な学校を目指す。
- ④ 個に応じたきめ細かな指導ができるよう自ら研修に励み、力量を高める。
- ⑤ 本校の教育活動を保護者、地域、中学校、教育関係機関等に広報し、理解と連携を深める。
- ⑥ 教職員の多忙化の改善に向け、全職員で意識改革を図るとともに、保護者や地域の理解や協力を得ながら取組を進める。

3 今年度の重点目標

- ① 多様な生徒に対応できるよう研修等で指導力を向上させ、「確かな学力」の定着を目指す。
- ② 生徒会活動や部活動を充実させ、基本的生活習慣の確立と社会性の向上を目指す。
- ③ 自己理解を深める取組を進め、望ましい勤労観、職業観を育成し、進路実現を目指す。
- ④ 教職員の多忙化の改善を図り、ワーク・ライフ・バランスに取り組む。